

平成 28 年度 学校通信 (特集号)	杭瀬小だより	尼崎市杭瀬北新町 2-6-1 尼崎市立杭瀬小学校 TEL 06-6488-3581	 <small>知れば知るほど あまがすき 100 尼崎市市制100周年</small>
---------------------------	---------------	---	--

－ 平成 28 年度 全国学力・学習状況調査の結果について－

秋冷の候、皆様方にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は本校教育推進のため、ご理解ご協力いただきありがとうございます。

さて、4月19日に実施された「全国学力・学習状況調査」では、小学校6年生が国語、算数（数学）を実施しました。学力の状況としては、国語〈知識A・活用B〉においては、全国・県平均と同等で0%～1%の差に迫っています。算数〈知識A・活用B〉においては、1%～4%の差でわずかに下回っていますが、文部科学省の定める達成基準である全国平均正答率の5%以内に入っていることから、概ね全国レベルに達していると言えます。しかし、全国平均を越えている教科はないため、今後さらに改善の必要があります。

1 全国学力調査 結果の概要

(1) 平成 28 年度の平均正答率

	本校	県	全国
国語 A (知識)	73%	73%	73%
国語 B (活用)	57%	58%	58%
算数 A (知識)	77%	78%	78%
算数 B (活用)	44%	48%	48%

(問題 A = 身につけておかなければあとの学年等の学習内容に影響を及ぼす内容、実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など)

(問題 B = 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力、様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価・改善する力など)

杭瀬小学校は、国語 A では、「漢字を書く・読む」項目については、正答率が高いと言えます。しかし、無回答率も目立つことから、確実に漢字を書く力・読む力をつけること、暗記ではなく、漢字の成り立ちや意味と繋げて理解すること、覚えていくことも必要だと思われまます。

課題を読み、「目的や意図に応じて自分の考えを書くこと」、「目的に応じて文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読むこと」については、苦手であり、正答率が下がります。

算数 A では、「示された場面を適切に読み取り、求めるために式で表すこと」「単位量当たりの大きさの求め方を理解すること」の正答率が低く、『形式的に処理するだけでなく、既習の内容をもとにしながら』解いたり、理解を深めたりすることや『場面を図などに示すなどの工夫をし、イメージを膨らませ場面把握を行うこと』が大切だと言えます。

どの教科も「筋道を考えながら」「理由を考えながら」書く、「説明する」という問いになると正答率も低く、無回答率も増えています。全体的に見て「無回答」は目立つ程ではありませんが、難しいと感じたり、わからないと感じた時に、粘り強く既習の内容とつなげながら考え、方法や答えを導くという点については課題が残ります。

より確かな理解を進めること（確実な見直し等を含めて）で上位層を増やすとともに、見通しや解決の方法を児童自らが見つける力・自主的に学習に取り組む力を育て、諦めずに最後まで取り組む粘り強さを育てていきたいと考えています。

2 学習（生活）状況（数値は「はい」・「どちらかと言えばはい」合計の%）

質問内容 (大きな項目を抜き出しています)	H27 杭瀬	H28 杭瀬	H28 全国
1 難しいことでも失敗を恐れずに挑戦していますか	7 1	6 8	7 6
2 将来の夢や目標を持っていますか	8 4	8 3	8 5
3 自分には、よいところがあると思いますか	6 9	6 7	7 6
4 家で、自分で計画を立てて勉強していますか	5 2	4 5	6 2
5 家で、学校の授業の予習をしていますか	2 4	4 2	4 3
6 家で、学校の授業の復習をしていますか	5 5	5 1	5 5

7 学校に行くのは楽しいと思いますか	7 4	7 5	8 6
8 今住んでいる地域の行事に参加していますか	5 3	4 8	6 8
9 国語の授業は好きですか	4 8	4 3	5 8
10 読書は好きですか	7 5	6 7	7 5
11 国語の授業で自分の考えを書く時、考えの理由が分かるように気をつけて書いていますか	5 3	6 2	7 4
12 算数の授業は好きですか	6 8	6 0	6 6
12 算数の勉強は大切だと思いますか	9 0	8 6	9 2
13 算数の問題が分からない時、あきらめずに色々な方法を考えますか	7 6	7 5	8 1
14 人の役に立つ人間になりたいと思いますか	8 4	8 6	9 4
15 家の人と学校での出来事について話をしますか	7 6	7 6	7 9
16 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。	***	6 7	8 3

〈自尊感情と学校生活〉

約7割の児童が、学校に行くのは楽しいと回答しています。全国に比べて12%、県に比べて11%低い結果となっていますが、学校で友だちに会うことは全国・県と同程度楽しいと感じています。また、自尊感情の高揚については「ものごとを最後までやり遂げられてうれしかったことがありますか」「難しいことでも失敗を恐れずに挑戦していますか」「自分にはよいところがあると思いますか」の回答において、割合は全国よりも低いという結果になっています。色々なことに挑戦し、成功体験を積み重ねることによって、少しずつ自信を高め、自尊感情を高めていくことが大切だということが読み取れます。

〈生活習慣〉

朝食・起床・就寝については、改善が求められます。朝食をあまり食べていない、全く食べていない児童は、全国の約3倍、「同じくらいの時刻に寝る・起きる」ことが全くできていないと答えた割合は、全国の2倍から3倍となっています。「早寝・早起き・朝ご飯」の取り組みを続け、生活習慣の改善を行うことが、授業の取り組み方や学習での理解につながったという結果もあります。毎日の習慣ですので、少しずつの改善の継続が大切です。

テレビゲームを4時間以上すると答えた割合は、全国の2.1倍、携帯・スマートフォンでの通話・インターネットを4時間以上すると答えた割合は、全国の4.2倍となっています。

ゲームや携帯・スマートフォンの使用については、『家でのルール』をつくり、発達段階に応じた適切な使用を心がけたいものです。長時間の視聴や使用は、学力に影響を与える可能性があると言われています。教育委員会の資料では、テレビ1時間未満、携帯等30分の児童の平均正答率が高くなっています。

〈学習習慣〉

「家で学校の宿題をしていますか」の問いについては、95%以上の児童が「はい」と答えています。授業の「予習」「復習」によって今日の学びがより充実できるような宿題を行う、自分で計画的な学習を進めるという点については苦手なところがあります。予習・復習の進め方をより具体的に示すことや自ら進んで学ぶ意欲を高めるための手立てを考えるとともに、学ぶ意味や意義を知らせ、学び方についてのアドバイスや励ましにより、受け身的な学習から、意欲を持った自主的な学習へと改善したいと思っています。（【家庭学習＝宿題】からのステップアップを。）

「昨日より集中していたね」「今日の字はきれいで丁寧だね」など、子どもたちの学びの姿を評価し、一声かけて頂ければと思います。

〈地域や家庭とのつながり〉

自分の住む町、地域を愛する気持ちを育てたいものです。地域行事への参加が極めて低いのが気になります。心の教育を育むためにも、地域の一員としての自覚や地域に積極的に関わっていく姿勢を身につけたいものです。